



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況 (非連結)

平成19年7月31日

上場会社名 鳥居薬品株式会社

上場取引所 東証第一部

コード番号 4551

URL <http://www.torii.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 紀彦

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 中村 敏則

TEL (03) 3231-6811

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の業績 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	10,325	1.5	1,734	△3.2	1,796	△5.0	988	△7.1
19年3月期第1四半期	10,171	△2.9	1,790	△18.6	1,889	△15.0	1,063	△13.3
19年3月期	39,576	—	5,336	—	5,591	—	3,028	—

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	34.93	—
19年3月期第1四半期	37.59	—
19年3月期	106.99	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	77,093	68,156	88.4	2,407.90
19年3月期第1四半期	75,739	65,974	87.1	2,330.72
19年3月期	77,542	67,590	87.2	2,387.90

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	26	1,622	△368	37,354
19年3月期第1四半期	△363	△1,312	△368	34,789
19年3月期	3,414	△3,437	△737	36,073

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
19年3月期	円 銭 13.00	円 銭 13.00	円 銭 26.00
20年3月期			
20年3月期 (予想)	13.00	13.00	26.00

3. 平成 20 年 3 月期の業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

業績予想につきましては、前回発表 (平成 19 年 4 月 27 日「平成 19 年 3 月期決算短信 (非連結)」) の予想数値を変更しておりません。

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. その他をご覧ください。

本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおります。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ・ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ・ 薬価の改定
- ・ 副作用の発現
- ・ 研究開発に関するリスク
- ・ 特定の製品への高い依存度
- ・ 製造の遅延または休止
- ・ 訴訟等のリスク

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

医薬品業界を取り巻く事業環境は、医療費抑制策が着実に浸透する等、引き続き厳しい状況となっております。

このような状況の下、当社の第 1 四半期における経営成績につきましては、売上高は、主力品である蛋白分解酵素阻害剤「注射用フサン」が前年同期比 2.2%減、肝臓疾患用剤・アレルギー用薬「強力ネオミノファーゲンシー」は前年同期比 12.6%減となりましたが、他の主力品である副腎皮質ホルモン剤「アンテベート」は前年同期比 12.0%増、抗 HIV 薬「ツルバダ錠」が前年同期比 119.0%増と伸長したこと等により、10,325 百万円と前年同期に比べ 1.5%増加しました。

利益面につきましては、売上高は増加しましたが、営業費の増加等により販売費及び一般管理費が前年同期に比べ 2.4%増加したことから、営業利益は 1,734 百万円（前年同期比 3.2%減）、経常利益は 1,796 百万円（前年同期比 5.0%減）、四半期純利益は 988 百万円（前年同期比 7.1%減）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第 1 四半期末の総資産は、77,093 百万円と前事業年度末に比べ 448 百万円（0.6%）減少しました。これは、流動資産が法人税等の納付等により 522 百万円（0.9%）減少し、投資その他の資産が投資有価証券の取得等により前事業年度末に比べ 99 百万円（0.9%）増加したことによるものです。

負債につきましては、8,937 百万円と前事業年度末に比べ 1,014 百万円（10.2%）減少しました。これは、主に流動負債の未払法人税等および賞与引当金が減少したことによるものです。

なお、純資産につきましては、68,156 百万円と前事業年度末に比べ 565 百万円（0.8%）増加しました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第 1 四半期末の現金及び現金同等物の残高は、37,354 百万円と前事業年度末に比べ 1,280 百万円増加しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益が 1,788 百万円となりましたが、法人税等の納付等を行った結果 26 百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻等により 1,622 百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払により 368 百万円の支出となりました。

3. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用については、簡便法により計算しております。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

4. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

区 分	前事業年度末 (平成 19 年 3 月 31 日現在)		当第 1 四半期末 (平成 19 年 6 月 30 日現在)		増 減		前第 1 四半期末 (平成 18 年 6 月 30 日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
(資産の部)								
I 流動資産								
1 現金及び預金	8,510		7,024		△1,485		7,012	
2 キャッシュ・マネージメント ・システム預託金	20,183		25,484		5,300		19,192	
3 受取手形	4		7		3		14	
4 売掛金	15,058		15,428		369		15,377	
5 有価証券	10,129		5,592		△4,536		11,435	
6 たな卸資産	3,567		3,470		△97		3,754	
7 その他	1,546		1,469		△77		1,838	
流動資産合計	59,001	76.1	58,478	75.9	△522	△0.9	58,623	77.4
II 固定資産								
1 有形固定資産								
(1) 建物	3,777		3,729		△47		3,815	
(2) 機械及び装置	1,111		1,137		25		1,043	
(3) 土地	1,189		1,189		—		1,189	
(4) その他	370		434		64		437	
計	6,448	8.3	6,490	8.4	42	0.7	6,485	8.6
2 無形固定資産	1,109	1.4	1,041	1.3	△68	△6.1	928	1.2
3 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券	5,016		5,127		110		3,877	
(2) その他	5,998		5,987		△10		5,855	
貸倒引当金	△31		△31		—		△31	
計	10,984	14.2	11,083	14.4	99	0.9	9,701	12.8
固定資産合計	18,541	23.9	18,615	24.1	73	0.4	17,115	22.6
資産合計	77,542	100.0	77,093	100.0	△448	△0.6	75,739	100.0

区 分	前事業年度末 (平成19年3月31日現在)		当第1四半期末 (平成19年6月30日現在)		増 減		前第1四半期末 (平成18年6月30日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
(負債の部)								
I 流動負債								
1 買掛金	4,140		4,238		98		5,051	
2 未払法人税等	1,370		864		△505		858	
3 賞与引当金	1,096		574		△522		570	
4 返品調整引当金	4		3		△0		4	
5 その他	2,256		2,200		△55		2,205	
流動負債合計	8,869	11.4	7,882	10.2	△986	△11.1	8,690	11.5
II 固定負債								
1 退職給付引当金	662		623		△39		674	
2 役員退職慰労引当金	80		—		△80		60	
3 預り敷金保証金	339		339		0		339	
4 長期未払金	—		92		92		—	
固定負債合計	1,082	1.4	1,054	1.4	△27	△2.6	1,075	1.4
負債合計	9,951	12.8	8,937	11.6	△1,014	△10.2	9,765	12.9
(純資産の部)								
I 株主資本								
1 資本金	5,190	6.7	5,190	6.7	—	—	5,190	6.8
2 資本剰余金								
資本準備金	6,416		6,416		—		6,416	
資本剰余金合計	6,416	8.3	6,416	8.3	—	—	6,416	8.5
3 利益剰余金								
(1) 利益準備金	1,297		1,297		—		1,297	
(2) その他利益剰余金								
特別償却準備金	4		4		△0		—	
別途積立金	51,980		54,230		2,250		51,980	
繰延利益剰余金	3,025		1,396		△1,629		1,433	
利益剰余金合計	56,307	72.6	56,928	73.9	620	1.1	54,711	72.2
4 自己株式	△850	△1.1	△851	△1.1	△0	0.1	△849	△1.1
株主資本合計	67,062	86.5	67,682	87.8	620	0.9	65,467	86.4
II 評価・換算差額等								
その他有価証券評価差額金	528		473		△54		506	
評価・換算差額等合計	528	0.7	473	0.6	△54	△10.4	506	0.7
純資産合計	67,590	87.2	68,156	88.4	565	0.8	65,974	87.1
負債純資産合計	77,542	100.0	77,093	100.0	△448	△0.6	75,739	100.0

(2) (要約) 四半期損益計算書

区 分	前第 1 四半期 〔自平成18年4月1日 至平成18年6月30日〕		当第 1 四半期 〔自平成19年4月1日 至平成19年6月30日〕		増 減		前事業年度 〔自平成18年4月1日 至平成19年3月31日〕	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
I 売上高								
1 製商品売上高	10,098		10,251		152		39,282	
2 不動産賃貸収入	72		73		0		294	
計	10,171	100.0	10,325	100.0	153	1.5	39,576	100.0
II 売上原価								
1 製商品売上原価	3,922		4,027		104		15,299	
2 不動産賃貸原価	18		16		△2		75	
計	3,941	38.8	4,043	39.2	102	2.6	15,375	38.9
売上総利益	6,229	61.2	6,281	60.8	51	0.8	24,200	61.1
返品調整引当金戻入額	5	0.1	4	0.0	△1	△21.6	5	0.0
返品調整引当金繰入額	4	0.0	3	0.0	△0	△20.0	4	0.0
差引売上総利益	6,230	61.3	6,281	60.8	51	0.8	24,201	61.2
III 販売費及び一般管理費	4,439	43.7	4,547	44.0	107	2.4	18,865	47.7
営業利益	1,790	17.6	1,734	16.8	△56	△3.2	5,336	13.5
IV 営業外収益								
1 受取利息	7		42		34		77	
2 有価証券利息	12		18		6		66	
3 受取配当金	100		16		△84		113	
4 その他	2		6		3		59	
計	123	1.2	83	0.8	△40	△32.5	316	0.8
V 営業外費用								
1 たな卸資産廃棄損失	12		16		4		49	
2 その他	12		4		△7		11	
計	24	0.2	21	0.2	△3	△13.8	61	0.2
経常利益	1,889	18.6	1,796	17.4	△93	△5.0	5,591	14.1
VI 特別利益	—	—	—	—	—	—	0	0.0
VII 特別損失								
1 転身援助特別加算金	—		—		—		61	
2 環境安全対策費	—		—		—		55	
3 その他	12		7		△4		42	
計	12	0.1	7	0.1	△4	△34.3	158	0.4
税引前四半期(当期)純利益	1,877	18.5	1,788	17.3	△89	△4.8	5,434	13.7
法人税、住民税及び事業税	813	8.0	799	7.7	△14	△1.7	2,534	6.4
法人税等調整額	—	—	—	—	—	—	△128	△0.4
四半期(当期)純利益	1,063	10.5	988	9.6	△75	△7.1	3,028	7.7

(3) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

区 分	前第 1 四半期 〔自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 6 月 30 日〕	当第 1 四半期 〔自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 6 月 30 日〕	前事業年度 〔自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日〕
	金 額	金 額	金 額
	百万円	百万円	百万円
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税引前四半期 (当期) 純利益	1,877	1,788	5,434
2 減価償却費	224	271	1,005
3 受取利息、有価証券利息及び受取配当金	△120	△76	△257
4 売上債権の増減額 (増加: △)	△304	△372	24
5 たな卸資産の増減額 (増加: △)	252	97	439
6 仕入債務の増減額 (減少: △)	△355	98	△1,265
7 長期未収入金の増減額 (増加: △)	—	—	525
8 未払金の増減額 (減少: △)	△63	△237	151
9 その他	△381	△340	△138
小計	1,129	1,227	5,918
10 利息及び配当金の受取額	125	83	249
11 法人税等の支払額	△1,618	△1,285	△2,753
営業活動によるキャッシュ・フロー	△363	26	3,414
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 定期預金の預入による支出	△2,000	—	△2,000
2 定期預金の払戻による収入	—	2,000	—
3 有価証券の取得による支出	—	—	△398
4 有価証券の売却及び償還による収入	799	697	1,299
5 有形固定資産の取得による支出	△388	△136	△1,152
6 無形固定資産の取得による支出	△223	△43	△604
7 投資有価証券の取得による支出	—	△898	△1,588
8 投資有価証券の売却及び償還による収入	500	—	1,002
9 その他	△0	3	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,312	1,622	△3,437
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 自己株式の取得による支出	△0	△0	△1
2 配当金の支払額	△367	△367	△735
財務活動によるキャッシュ・フロー	△368	△368	△737
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
V 現金及び現金同等物の増減額 (減少: △)	△2,044	1,280	△760
VI 現金及び現金同等物の期首残高	36,833	36,073	36,833
VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	34,789	37,354	36,073



2008年3月期 第1四半期決算 参考資料

I. 主な経営指標等の推移			III. 財政の状況		
1. 経営成績	P.1	1. 四半期貸借対照表	P.5,6
2. 財政状態	P.1	2. 四半期キャッシュ・フロー計算書	P.7
II. 損益の状況			IV. 設備投資の状況	P.8
1. 四半期損益計算書	P.2			
2. 製商品売上高	P.3			
3. 売上原価	P.4			
4. 減価償却費	P.4			
5. 研究開発費	P.4	【予想数値に関する注意事項】	P.8

※ 本資料の数字は、百万円未満を切捨てして表示しております。

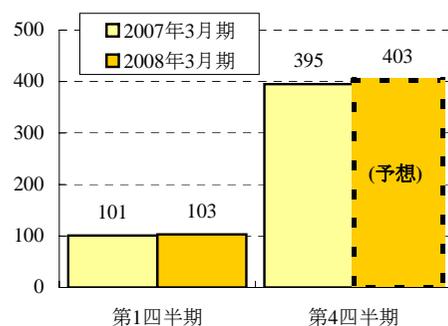
2007年7月31日

I. 主な経営指標等の推移

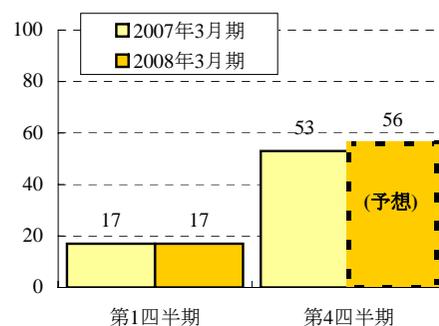
1. 経営成績

	2007年3月期				2008年3月期			2008年3月期予想		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	対前年同期増減(率:%)		対前期増減(率:%)		
売上高	10,171	19,978	31,173	39,576	10,325	153	(1.5)	40,300	723	(1.8)
営業利益	1,790	2,417	4,653	5,336	1,734	△ 56	(△ 3.2)	5,600	263	(4.9)
経常利益	1,889	2,560	4,846	5,591	1,796	△ 93	(△ 5.0)	5,700	108	(1.9)
四半期(当期)純利益	1,063	1,398	2,667	3,028	988	△ 75	(△ 7.1)	3,100	71	(2.4)
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	37.59	49.41	94.25	106.99	34.93	△ 2.66		109.52	2.53	(2.4)
自己資本四半期(当期)純利益率 (%)	1.6	2.1	4.0	4.6	1.5	△ 0.1		—	—	
総資産経常利益率 (%)	2.5	3.3	6.3	7.2	2.3	△ 0.2		—	—	
売上高経常利益率 (%)	18.6	12.8	15.5	13.5	17.4	△ 1.2		—	—	

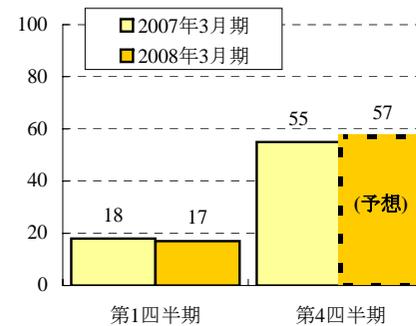
売上高(億円)



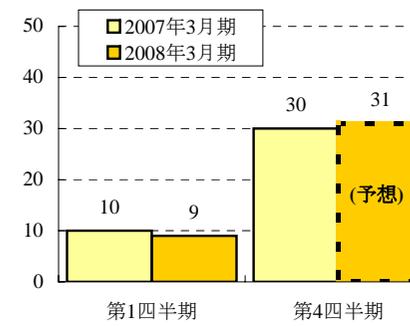
営業利益(億円)



経常利益(億円)



四半期(当期)純利益(億円)



2. 財政状態

	2007年3月期				2008年3月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	対前期末増減(率:%)	
総資産	75,739	76,082	76,802	77,542	77,093	△ 448	(△ 0.6)
純資産	65,974	66,369	67,244	67,590	68,156	565	(0.8)
自己資本比率 (%)	87.1	87.2	87.6	87.2	88.4	1.2	
1株当たり純資産 (円)	2,330.72	2,344.72	2,375.65	2,387.90	2,407.90	20.00	

II. 損益の状況

1. 四半期損益計算書

(単位:百万円)

	2007年3月期 第1四半期	2008年3月期		2007年 3月期	対前年同期増減要因
		第1四半期	対前年同期増減(率:%)		
売上高	10,171	10,325	153 (1.5)	39,576	【製商品売上高】 《増加要因》・アンテバート、抗HIV薬(ツルバダ錠)の伸長 《減少要因》・注射用フサン、強力ネオミノファーゲンシーの減少
製商品売上高	10,098	10,251	152	39,282	
不動産賃貸収入	72	73	0	294	
売上原価	3,941	4,043	102 (2.6)	15,375	【製商品売上原価】 《増加要因》・売上高の増加等
製商品売上原価	3,922	4,027	104	15,299	
不動産賃貸原価	18	16	△ 2	75	
売上総利益	6,229	6,281	51 (0.8)	24,200	
返品調整引当金戻入額	5	4	△ 1 (△ 21.6)	5	
返品調整引当金繰入額	4	3	△ 0 (△ 20.0)	4	
差引売上総利益	6,230	6,281	51 (0.8)	24,201	【販売費及び一般管理費】 《増加要因》・営業費の増加等
販売費及び一般管理費	4,439	4,547	107 (2.4)	18,865	
営業利益	1,790	1,734	△ 56 (△ 3.2)	5,336	【営業外収益】 《減少要因》・受取配当金の減少
営業外収益	123	83	△ 40 (△ 32.5)	316	
営業外費用	24	21	△ 3 (△ 13.8)	61	
経常利益	1,889	1,796	△ 93 (△ 5.0)	5,591	
特別利益	—	—	— (—)	0	
特別損失	12	7	△ 4 (△ 34.3)	158	
税引前四半期(当期)純利益	1,877	1,788	△ 89 (△ 4.8)	5,434	
法人税、住民税及び事業税	813	799	△ 14 (△ 1.7)	2,405	
法人税等調整額					
四半期(当期)純利益	1,063	988	△ 75 (△ 7.1)	3,028	

2. 製商品売上高

(単位:百万円)

(単位:百万円)

品名	2007年3月期 第1四半期	2008年3月期		2007年 3月期	2008年3月期予想		
		第1四半期	対前年同期増減(率:%)		対前期増減(率:%)		
注射用フサン※	蛋白分解酵素阻害剤	2,949	2,885	△ 63 (△ 2.2)	11,472	11,040	△ 432 (△ 3.8)
アンテベート※	外用副腎皮質 ホルモン剤	1,255	1,406	151 (12.0)	4,922	5,370	447 (9.1)
強力ネオミノファーゲンシー	肝臓疾患用剤 ・アレルギー用薬	1,377	1,204	△ 173 (△ 12.6)	5,075	4,600	△ 475 (△ 9.4)
ユリノーム錠※	尿酸排泄薬 (痛風治療剤)	937	927	△ 10 (△ 1.1)	3,629	3,780	150 (4.1)
抗HIV薬(注1)	抗ウイルス化学療法剤	568	861	292 (51.4)	2,620	3,340	719 (27.5)
(内 ツルバダ錠)		(267)	(585)	(317) (119.0)	(1,444)	(2,250)	(805) (55.7)
ウブレチド錠※	重症筋無力症 ・排尿障害治療剤	540	529	△ 11 (△ 2.2)	2,066	2,110	43 (2.1)
グリチロン錠	肝臓疾患用剤 ・アレルギー用薬	367	341	△ 25 (△ 7.0)	1,396	1,260	△ 136 (△ 9.8)
ロコイド※	外用副腎皮質 ホルモン剤	316	326	9 (3.0)	1,145	1,150	4 (0.4)
セロトーン	制吐剤	274	284	9 (3.4)	1,097	1,150	52 (4.8)
ビオスリー	活性生菌製剤(整腸剤)	254	278	23 (9.3)	1,077	1,190	112 (10.5)
その他		1,254	1,205	△ 48 (△ 3.9)	4,778	5,060	281 (5.9)
計		10,098	10,251	152 (1.5)	39,282	40,050	767 (2.0)
【参考】 自社品売上高		6,371	6,486	114 (1.8)	24,811	25,250	438 (1.8)
自社品比率(%)		63.1	63.3	0.2	63.2	63.0	△ 0.2

(注1) ビラセプト錠、ピリアード錠、エムトリバカプセル、ツルバダ錠の4剤合計であります。

(注2) 自社品には、品名に※を付しております。

3. 売上原価

(単位:百万円)

	2007年3月期 第1四半期	2008年3月期	
		第1四半期	対前年同期増減(率:%)
売上高	10,171	10,325	153 (1.5)
売上原価	3,941	4,043	102 (2.6)
売上原価率(%)	38.8	39.2	0.4 —

(単位:百万円)

2007年 3月期	2008年3月期予想	
		対前期増減(率:%)
39,576	40,300	723 (1.8)
15,375	16,100	724 (4.7)
38.9	40.0	1.1 —

4. 減価償却費

(単位:百万円)

	2007年3月期 第1四半期	2008年3月期	
		第1四半期	対前年同期増減(率:%)
不動産賃貸原価	8	8	△ 0 (△ 1.4)
販売費及び一般管理費	108	101	△ 6 (△ 5.9)
製造原価	107	161	53 (50.1)
計	224	271	47 (21.1)

(単位:百万円)

2007年 3月期	2008年3月期予想	
		対前期増減(率:%)
35	35	0 (0.0)
427	414	△ 12 (△ 2.9)
543	822	279 (51.5)
1,005	1,272	267 (26.6)

5. 研究開発費

(単位:百万円)

	2007年3月期 第1四半期	2008年3月期	
		第1四半期	対前年同期増減(率:%)
研究開発費	317	188	△ 128 (△ 40.6)

(単位:百万円)

2007年 3月期	2008年3月期予想	
		対前期増減(率:%)
1,765	852	△ 913 (△ 51.7)

(注) 当社は、親会社であるJTとの研究開発に係る機能分担において、主として既存品の剤形改良や追加効能等の機能を担うとともに、当社の得意とする領域の開発に参画しております。

Ⅲ. 財政の状況

1. 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	2007年 3月期	2008年3月期 第1四半期		2007年 3月期 第1四半期	対前期末増減要因
			対前期末増減(率:%)		
(資産の部)					
流動資産	59,001	58,478	△ 522 (△ 0.9)	58,623	
現金及び預金	8,510	7,024	△ 1,485	7,012	【現金及び預金】 《減少要因》・法人税確定納付・夏季賞与支払等
キャッシュ・マネージメント ・システム預託金(注)	20,183	25,484	5,300	19,192	【キャッシュ・マネージメント・システム預託金】 《増加要因》・有価証券等からの振替
受取手形	4	7	3	14	
売掛金	15,058	15,428	369	15,377	
有価証券	10,129	5,592	△ 4,536	11,435	【有価証券】 《減少要因》・金融商品の解約
たな卸資産	3,567	3,470	△ 97	3,754	
その他	1,546	1,469	△ 77	1,838	
固定資産	18,541	18,615	73 (0.4)	17,115	
有形固定資産	6,448	6,490	42 (0.7)	6,485	
建物	3,777	3,729	△ 47	3,815	
機械及び装置	1,111	1,137	25	1,043	
土地	1,189	1,189	—	1,189	
その他	370	434	64	437	
無形固定資産	1,109	1,041	△ 68 (△ 6.1)	928	
投資その他の資産	10,984	11,083	99 (0.9)	9,701	
投資有価証券	5,016	5,127	110	3,877	
その他	5,998	5,987	△ 10	5,855	
貸倒引当金	△ 31	△ 31	—	△ 31	
資産合計	77,542	77,093	△ 448 (△ 0.6)	75,739	

(注) キャッシュ・マネージメント・システムとは、JTグループにおける国内グループ会社を対象とした資金の一元管理を目的とするシステムです。

(単位:百万円)

	2007年 3月期 3月期	2008年3月期 第1四半期		2007年 3月期 第1四半期
		対前期末増減(率:%)		
(負債の部)				
流動負債	8,869	7,882	△ 986 (△ 11.1)	8,690
買掛金	4,140	4,238	98	5,051
未払法人税等	1,370	864	△ 505	858
賞与引当金	1,096	574	△ 522	570
返品調整引当金	4	3	△ 0	4
その他	2,256	2,200	△ 55	2,205
固定負債	1,082	1,054	△ 27 (△ 2.6)	1,075
退職給付引当金	662	623	△ 39	674
役員退職慰労引当金	80	—	△ 80	60
預り敷金保証金	339	339	0	339
長期未払金	—	92	92	—
負債合計	9,951	8,937	△ 1,014 (△ 10.2)	9,765
(純資産の部)				
株主資本	67,062	67,682	620 (0.9)	65,467
資本金	5,190	5,190	— (—)	5,190
資本剰余金	6,416	6,416	— (—)	6,416
資本準備金	6,416	6,416	—	6,416
利益剰余金	56,307	56,928	620 (1.1)	54,711
利益準備金	1,297	1,297	—	1,297
その他利益剰余金				
特別償却準備金	4	4	△ 0	—
別途積立金	51,980	54,230	2,250	51,980
繰越利益剰余金	3,025	1,396	△ 1,629	1,433
自己株式	△ 850	△ 851	△ 0 (0.1)	△ 849
評価・換算差額等	528	473	△ 54 (△ 10.4)	506
その他有価証券評価差額金	528	473	△ 54 (△ 10.4)	506
純資産合計	67,590	68,156	565 (0.8)	65,974
負債・純資産合計	77,542	77,093	△ 448 (△ 0.6)	75,739

対前期末増減要因

【未払法人税等】
《減少要因》・法人税等の確定納付

【賞与引当金】
《減少要因》・夏季賞与の支払

【役員退職慰労引当金】
《減少要因》・役員退職慰労金制度廃止に伴う取崩し

【長期未払金】
《増加要因》・役員・執行役員退職慰労金制度廃止に伴う打切り支給相当額

2. 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2007年 3月期 第1四半期	2008年3月期 第1四半期		2007年 3月期	対前年同期増減要因
			対前年同期増減		
税引前四半期(当期)純利益	1,877	1,788	△ 89	5,434	
減価償却費	224	271	47	1,005	
受取利息、有価証券利息 及び受取配当金	△ 120	△ 76	43	△ 257	
売上債権の増減額(増加:△)	△ 304	△ 372	△ 68	24	
たな卸資産の増減額(増加:△)	252	97	△ 155	439	【たな卸資産の増減額、仕入債務の増減額】 《増減要因》・商品等仕入時期の差異
仕入債務の増減額(減少:△)	△ 355	98	453	△ 1,265	
利息及び配当金の受取額	125	83	△ 41	249	
法人税等の支払額	△ 1,618	△ 1,285	333	△ 2,753	【その他】 《減少要因》・未払金の減少
その他	△ 445	△ 578	△ 132	538	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 363	26	389	3,414	
定期預金の預入による支出	△ 2,000	—	2,000	△ 2,000	
定期預金の払戻による収入	—	2,000	2,000	—	
有価証券の取得による支出	—	—	—	△ 398	
有価証券の売却及び償還による収入	799	697	△ 101	1,299	
有形固定資産の取得による支出	△ 388	△ 136	251	△ 1,152	
無形固定資産の取得による支出	△ 223	△ 43	180	△ 604	
投資有価証券の取得による支出	—	△ 898	△ 898	△ 1,588	
投資有価証券の売却及び償還による収入	500	—	△ 500	1,002	
その他	△ 0	3	4	4	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,312	1,622	2,935	△ 3,437	
自己株式の取得による支出	△ 0	△ 0	△ 0	△ 1	
配当金の支払額	△ 367	△ 367	0	△ 735	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 368	△ 368	△ 0	△ 737	
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—	—	
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△ 2,044	1,280	3,325	△ 760	
現金及び現金同等物の期首残高	36,833	36,073	△ 760	36,833	
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	34,789	37,354	2,564	36,073	

IV. 設備投資の状況

(単位:百万円)

(単位:百万円)

	2007年 3月期 第1四半期	2008年3月期	
		第1四半期	対前年同期増減(率:%)
有形固定資産	248	242	△ 5 (△ 2.4)
無形固定資産	28	11	△ 17 (△ 60.3)
計	277	253	△ 23 (△ 8.5)

2007年 3月期	2008年3月期予想	
		対前期増減(率:%)
880	1,197	316 (36.0)
441	107	△ 334 (△ 75.8)
1,322	1,304	△ 17 (△ 1.3)

(注1) 当社は、製品の品質向上と原価の低減及び業務の効率化を目的として設備投資を行っております。

(注2) 当期の有形固定資産に係る設備投資は、主として佐倉工場の製造設備への投資であります。また、無形固定資産の設備投資は、ソフトウェア等への投資であります。

【予想数値に関する注意事項】

本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおります。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下の様な事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 薬価の改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発に関するリスク
- ◇ 特定の製品への高い依存度
- ◇ 製造の遅延または休止
- ◇ 訴訟等のリスク